

No. 17-6

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 17 - 6

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与		8		作成日		26年 6月 11日		
事務事業名		とういんカレッジ開催事業						シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち						課名	社会教育課		係名	生涯学習係
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる							シート作成者			
	施策	3-1-3 生涯学習の推進						予算費目	会計		一般	
									款		10	
主要施策	⑥ 生涯学習に参画する人材の育成						項		5			
							目		3			
個別計画名												
住民との関わり		アンケート調査										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）				目的（どういう状態にしたいのか）							
	20歳以上の町内在住・在勤者				生涯学習の推進を目的に、生涯にわたり自らを高め、豊かな人生を送れるように、生涯学習の充実に努力し、多様な学習機会の場の提供に努め、地域に根ざした取り組みを図る。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）				町民が自ら学べる生涯学習環境づくりとして、町民の多様な生涯学習ニーズに応じた生涯学習の機会を提供し、町民の主体的な生涯学習活動を支援する。また、生涯学習の成果を地域で活用する仕組みづくりとして町民が自ら学んだ学習の成果を、学校や地域社会で活用できるような仕組みづくりや、機会・場の提供を図るため講師を依頼し、学習講座を開設する。							
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度		～		平成 年度		（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		社会教育法（生涯学習振興法）										
		平成24年度（決算）			平成25年度（決算）			平成25年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		462			132			132				
財源内訳	国庫支出金		0			0			0			
	県支出金		0			0			0			
	地方債		0			0			0			
	その他特定財源		0			0			0			
	一般財源		0			0			0			
直接事業費（千円）A		0			0			0				
人件費（千円）B		462			132			132				
内訳	一般職員（人・千円）		0.07 人 462		0.02 人 132		0.02 人 132					
	臨時職員（人・千円）		人 0		人 0		人 0					
成果指標	成果指標名				単位	25年度		26年度	27年度			
						目標	実績	（目標）	（目標）			
	①	受講者数			人	80	45	50	50			
	②											
③												
説明	生涯学習の推進を行うために、生涯にわたり自らを高め、豊かな人生を送れるように、多様な学習機会の場の提供に努め、地域に根ざした取り組みを図り、多彩で特色ある生涯学習プログラムの整備と提供を題材とした講座として取り入れ出席しやすい講座を企画し、多くの方に受講していただくことを目指す。											

事業名	とういんカレッジ開催事業	シート作成課	社会教育課
-----	--------------	--------	-------

一次評価者	社会教育課長	二次評価者	教育委員会事務局長
-------	--------	-------	-----------

評価項目の説明	チェック項目		一次	二次	一次の評価又は説明			
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		生涯学習のうち、町内に在住または在勤する成人の生涯学習の場の提供として実施します。		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			町内に在住する方はもちろんのこと、在勤する方にとっても、身近なところで学習ができます。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				受講者数が定員に達するよう工夫が必要と考えます。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

本事務事業の実施適切性の説明

現代社会に適応する題材などで講座を立案し、身近な課題について考える機会を提供するものです。実施にあたっては事前に文化センター運営審議会の承認を受けています。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		3	4	2	3	<sup>(8)</sup> B <sup>(7)</sup> A	<sup>(6)</sup> D <sup>(5)(6)</sup> C <sup>(8)</sup>
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
	今後の改革・改善目標	一般成人向けカレッジの必要性・方向性について、改めて検討する必要があります。					

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		3	4	2	3	<sup>(8)</sup> B <sup>(7)</sup> A	<sup>(6)</sup> D <sup>(5)(6)</sup> C <sup>(8)</sup>
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大	
	コメント	目的・目標を改めて見直し、検討する必要があります。					

二次評価に対する課の考え方						
---------------	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	5	その他、参画・協働に関して、制度上、運営上、留意していく	
------------	------	----	------	---	------------------------------	--